

食べたもので体は作られる。
学校給食は、子どもたちの大切な一食。
地産地消、有機栽培のお米を使うことから
オーガニック給食へ進む扉を開く途を考えます。
熊本の有機・オーガニックを広げる取り組みに、
ぜひご参加ください。

どうすれば 学校給食に 有機のお米が使えるの？

熊本県内事例調査報告会 vol. 1

有機の学校給食あれこれを熊本県内の1市2町村の具体事例をもとに見ていきます。

- 地域の小中学生数とお米生産量からみて、学校給食に必要な量は、ある？ない？
- そもそもこれから米飯給食に十分なお米を生産できるの？
- 有機米を使った米飯給食、田んぼから教室へ届くまでに何が必要？

今だから、有機の学校給食を語ろう

- 海外依存の「豊かな生活」。低い食糧自給率。農家はいなくなる？
- 地域の食の持続可能性を学校給食から考え、交流を深めます。

2026年5月31日（日） 14時～16時

会場：熊本市男女共同参画センターはあもにい 研修室A 定員36名
熊本市中央区黒髪3丁目3番10号

参加費：無料

お席の確保のため、事前にメールまたはFAXにてお申込みをお願いいたします。→二次元コードからメール送信で申込できます。

(5/22金曜日迄)

save.seedfoodkuma@gmail.com

FAX番号:096-273-1917



主催 くまもとのタネと食を守る会